

MapPaint2006
簡単操作ガイド

目次

この簡単操作ガイドは、MapPaint2006 を操作する上で、最初に必要となる地図環境の作成方法と、最も基本的な色塗りの設定方法を簡単に説明したものです。製品情報や各機能に関する詳細な説明に関しましては、電子ヘルプの内容を参照して下さい。※あくまでも最初の基本操作のみの説明書になりますので、詳しい内容等につきましては、電子ヘルプをご覧になりながら行ってください。

第1部 MapPaint2006 のインストール手順

1. MapPaint2006 のインストール
2. ユーザ設定の手順

第2部 連携表の作成手順

1. 連携表について
2. 連携表の作成
3. エクセル表の保存場所

第3部 地図環境の作成手順

1. 地図定義ファイルの新規作成
2. 作成した地図定義ファイルの保存場所

第4部 階層情報の設定手順

1. 階層について
2. 階層情報の設定
 - 2-1.表示設定
 - 2-2.階層設定
 - 2-3.位置連携表設定

第5部 色塗り手順

1. 色塗り設定

第6部 ジオコーディングした結果を MapPaint に取り込む手順

ホームページ上にある「**ジオコード無料体験**」より、お手持ちの住所データに位置情報をつけることができます。このジオコーディングした結果を MapPaint に取り込み、活用する手順を説明します。

MapPaint2006 のインストール手順

MapPaint2006 のインストール

MapPaint2006 CD 版、ダウンロード版のインストール手順をご紹介します。

CD 版

オンラインショップで「MapPaint2006 CD 版」をご購入後、製品の CD-ROM と「ユーザー登録カード」が届きます。届いた CD-ROM をご利用のパソコンに挿入します。通常、Windows の自動再生機能により CD-ROM を挿入するとスタートアップ画面を表示します。

「インストール」を選択すると、MapPaint2006 のインストーラが起動されます。

インストール手順につきましては下記をご覧ください。

ダウンロード版

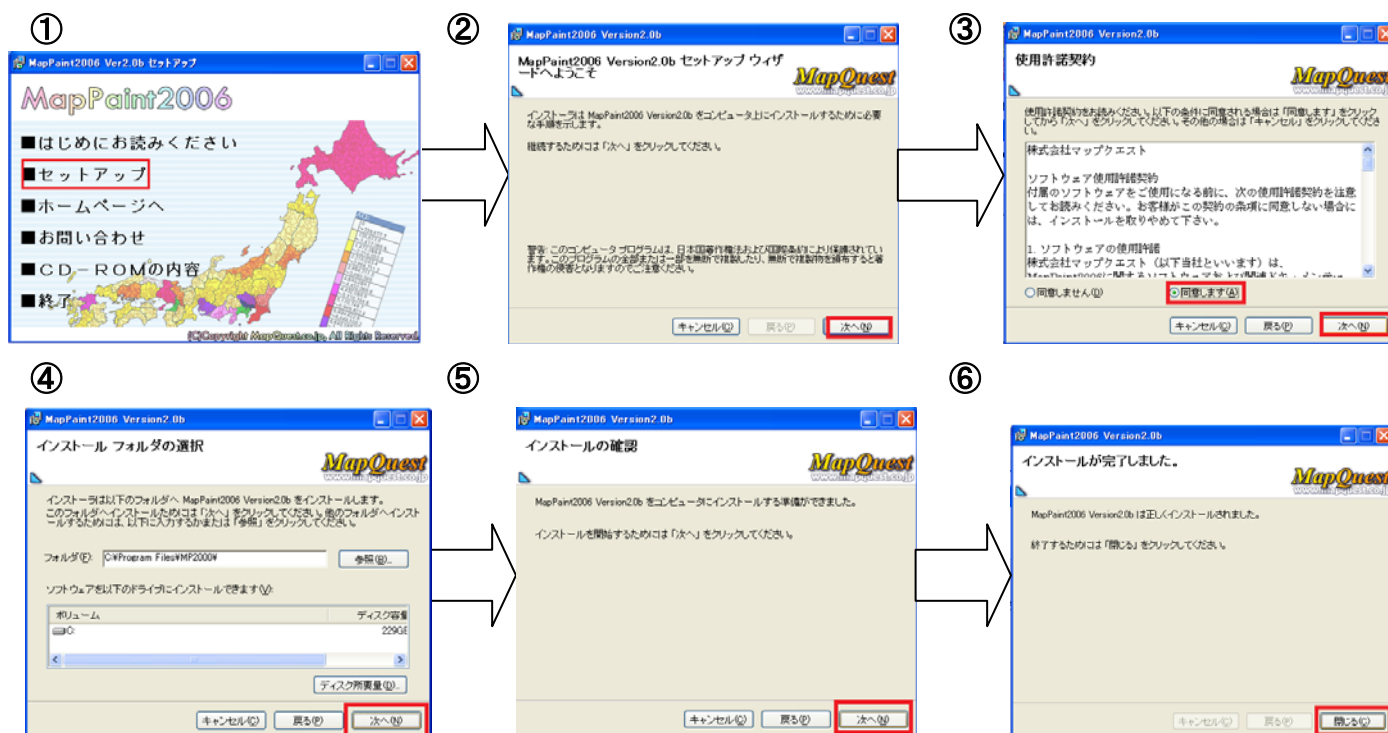
MapPaint2006 の体験版ページより MapPaint2006 をダウンロードして下さい。

オンラインショップで「MapPaint2006 ダウンロード版」をご購入後「ユーザー登録カード」が届きます。

MapPaint2006 のダウンロード手順をご紹介します。

1. 体験版ダウンロードページで利用申し込みへ必要事項を記入し、「ダウンロード」をクリックします。
2. 「ダウンロード」をクリックすると体験版ダウンロード申込完了画面が表示され、ファイルのダウンロード画面が表示されますので、「MP2006_2_0_1_Setup.EXE」を保存します。
3. 先ほど保存した、「MP2006_2_0_1_Setup.EXE」を開きます。セキュリティの警告が出た場合「実行」をクリックします。スタートアップ画面を表示し「インストール」を選択すると、MapPaint2006 のインストーラが起動されます。

ここからの作業手順は CD 版、ダウンロード版ともに同一の手順となります。
セットアップをクリックします。あとは画面の指示に従ってインストールを進めてください。



インストールが完了したら閉じるボタンで終了してください。

ユーザ設定の手順

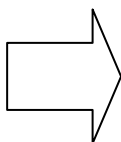
MapPaint2006 のインストールが完了すると [ユーザ設定ウィザード] が表示されます。ここではユーザ設定の手順をご紹介します。

ユーザ設定が完了すると登録番号が表示されます。この登録番号はライセンス発行の際に必要ですので、控えておいて下さい。

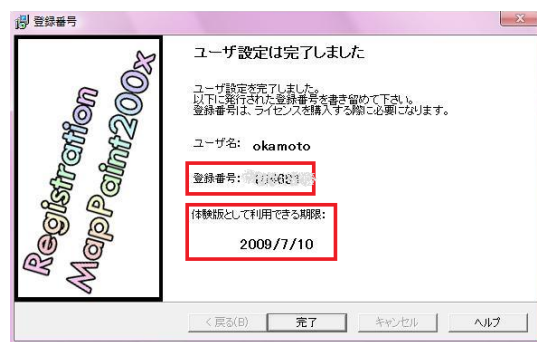
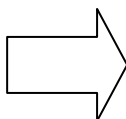
万が一控えておくのを忘れた場合、MapPaint2006 メニューバーの[ヘルプ]ボタンより、「バージョン情報」をクリックして、登録番号を確認できます。

画面の指示に従ってユーザ設定を進めてください。

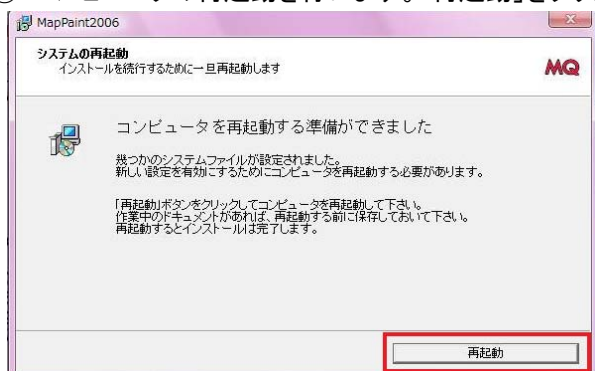
- ① ユーザ設定ウィザードが表示されたら「次へ」をクリックします。
- ② ユーザ名を入力し、「次へ」をクリックします。



- ③ 入力したユーザ名を確認し、よろしければ「次へ」をクリックします。
- ④ ユーザ設定が完了します。登録番号と体験版として利用できる期限が表示されます。



- ⑤ コンピュータの再起動を行います。「再起動」をクリックします。



コンピュータの再起動をすると MapPaint2006 のインストールは完了します。

第2部 連携表の作成手順

1. 連携表について

MapPaint では、Excel や Access で作成された表を地図に関連付けて情報を視覚的に表現します。この表のことを MapPaint では「連携表」といいます。連携表にはその内容によって「コード連携表」と「位置連携表」の2つに分類されています。※連携表の詳しい説明は、電子ヘルプの「連携表について」をご覧ください。

- 「コード連携表」 → 地図に連携する連携表
地図の1つ1つの形状が持つコードを、キーとして項目に持つ連携表です。
地図(階層)への関連づけを設定して使用します。
* 通常使用されるのは、コード連携表が多く使用されます。
- 「位置連携表」 → 位置に連携する連携表
地図上の位置を表す座標値を、キーとして項目に持つ連携表です。
地図データが緯度経度座標系で構成されている場合は、「緯度」・「経度」、
独自座標系で構成されている場合は、「座標Y」・「座標X」という項目を設定します

2. 連携表の作成

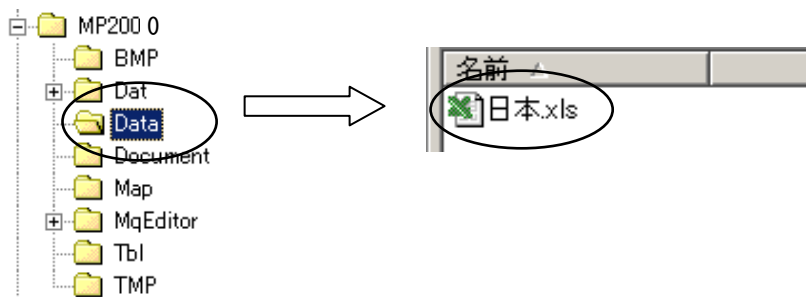
お手持ちのエクセルデータをコード連携表にする手順を説明します。

1.MapPaint2006 に添付しているコード連携表にデータを追加する方法

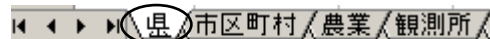
※MapPaint を起動している状態ではこの作業は行えません。MapPaint を一旦終了してから作業を行ってください。

1-1.MapPaint がインストールされているフォルダを開いて下さい。(ここでは、C:\Program Files\MP2000)

Data フォルダに収められている、日本.xls ファイルを開いて下さい。このファイルが MapPaint に添付している日本地図に連携する連携表になります。



1-2. MapPaint に添付している連携表は、コードで連携している「県・市区町村・農業」シートと位置で連携している「観測所」のシートから成ります。下図は県シートを表示しています。この県シートは左端の「県コード」で地図に連携しています。



	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	県コード	都道府県名	面積	人口	世帯数	世帯人数	人口密度	高齢者人口	構成比	
2	1	北海道	83,454	5,662,856	2,496,182	2.3	67.9	1,115,974	19.7	
3	2	青森	9,606	1,487,451	547,986	2.7	154.8	311,809	21.0	
4	3	岩手	15,278	1,411,176	485,466	2.9	92.4	325,223	23.0	
5	4	宮城	7,285	2,350,132	848,185	2.8	322.6	442,448	18.8	
6	5	秋田	11,612	1,182,025	408,430	2.9	101.8	298,815	25.3	
7	6	山形	9,323	1,232,578	385,731	3.2	132.2	301,542	24.5	
8	7	福島	13,782	2,122,613	710,409	3.0	154.0	456,976	21.5	
9	8	茨城	6,095	2,993,746	1,029,068	2.9	491.2	536,490	17.9	
10	9	栃木	6,408	2,005,467	693,066	2.9	313.0	370,176	18.5	
11	10	群馬	6,363	2,022,666	711,305	2.8	317.9	393,659	19.5	
12	11	埼玉	3,797	6,954,276	2,618,360	2.7	1831.5	1,010,384	14.5	
13	12	千葉	5,156	5,978,287	2,314,450	2.6	1159.5	939,919	15.7	
14	13	東京	2,187	11,996,460	5,692,903	2.1	5485.3	2,081,136	17.3	

- 1-3. お手持ちのデータを右の列に追加します。追加できる項目数は最大 256 件までとなっております。
 (お手持ちのデータが県別の場合です。※データが市区町村の場合は市区町村のシートに追加して下さい)

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1	県コード	都道府県名	面積	人口	世帯数	世帯人数	人口密度	高齢者人口	構成比	キロワット	大瓶一人
2	1	北海道	83,454	5,662,856	2,496,182	2.3	67.9	1,115,974	19.7	199,752	69
3	2	青森	9,606	1,487,451	547,986	2.7	154.8	311,809	21.0	55,779	74.2
4	3	岩手	15,278	1,411,176	485,466	2.9	92.4	325,223	23.0	54,580	65.4
5	4	宮城	7,285	2,350,132	848,185	2.8	322.6	442,448	18.8	81,446	68.6
6	5	秋田	11,612	1,182,025	408,430	2.9	101.8	298,815	25.3	47,872	78.7
7	6	山形	9,323	1,232,578	385,731	3.2	132.2	301,542	24.5	43,332	69.5
8	7	福島	13,782	2,122,613	710,409	3.0	154.0	456,976	21.5	70,707	66
9	8	茨城	6,095	2,993,746	1,029,068	2.9	491.2	536,490	17.9	95,535	63.8
10	9	栃木	6,408	2,005,467	693,066	2.9	313.0	370,176	18.5	59,439	59.2
11	10	群馬	6,363	2,022,666	711,305	2.8	317.9	393,659	19.5	54,863	54
12	11	埼玉	3,797	6,954,276	2,618,360	2.7	1831.5	1,010,384	14.5	183,172	52.4
13	12	千葉	5,156	5,978,287	2,314,450	2.6	1159.5	939,919	15.7	151,918	50.2
14	13	東京	2,187	11,996,460	5,692,903	2.1	5485.3	2,081,136	17.3	656,153	104.6

- 1-4. 必要なデータを追加したら、「名前をつけて保存」をして下さい。ここでは、ファイル名をサンプル.xls とします。
 保存先は MP2006 の Data フォルダです。これでお手持ちのデータが連携表に追加されました。

2. お手持ちのエクセルデータを連携表にする方法

お手持ちのエクセルデータに 1 で説明しました添付のエクセル表(日本.xls)の県コード、市町村コードを参考にエクセル表の左端にコードの列を追加して、MP2006 の Data フォルダに名前をつけて保存して下さい。
 ※連携表は作成したら全て Data フォルダに保存して下さい。

例) ここではお手持ちのデータが、「都道府県別のビール・酒の年間消費量」のデータと想定して説明します。

	A	B	C
1	都道府県名	キロワット	大瓶一人
2	北海道	199,752	69
3	青森	55,779	74.2
4	岩手	54,580	65.4
5	宮城	81,446	68.6
6	秋田	47,872	78.7
7	山形	43,332	69.5
8	福島	70,707	66
9	茨城	95,535	63.8
10	栃木	59,439	59.2
11	群馬	54,863	54
12	埼玉	183,172	52.4
13	千葉	151,918	50.2
14	東京	656,153	104.6
15	神奈川	247,582	56.6
16	新潟	77,819	70
17	富山	43,539	75.8
18	石川	50,473	85.2
19	福井	32,402	78.7
20	山梨	29,905	67.6

	A	B	C	D
1	県コード	都道府県名	キロワット	大瓶一人
2	1	北海道	199,752	69
3	2	青森	55,779	74.2
4	3	岩手	54,580	65.4
5	4	宮城	81,446	68.6
6	5	秋田	47,872	78.7
7	6	山形	43,332	69.5
8	7	福島	70,707	66
9	8	茨城	95,535	63.8
10	9	栃木	59,439	59.2
11	10	群馬	54,863	54
12	11	埼玉	183,172	52.4
13	12	千葉	151,918	50.2
14	13	東京	656,153	104.6
15	14	神奈川	247,582	56.6
16	15	新潟	77,819	70
17	16	富山	43,539	75.8
18	17	石川	50,473	85.2
19	18	福井	32,402	78.7
20	19	山梨	29,905	67.6

- ① 都道府県別のエクセル表データの左端に新しく列を挿入して下さい。
- ② 項目名を「県コード」として、コードを入力して下さい。
- ③ ファイルに名前をつけて「Data フォルダ」に保存して下さい。ここでは「サンプル.xls」とします。

連携表の作成手順は以上で終了です。

第3部 地図環境の作成手順

地図データと表データを指定して、新しく作業する地図を作成します。

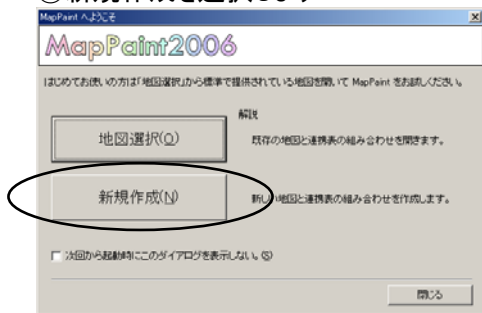
(指定した地図と表の組み合わせを、MapPaint では「地図定義ファイル」と呼びます)

1. 地図定義ファイルの新規作成

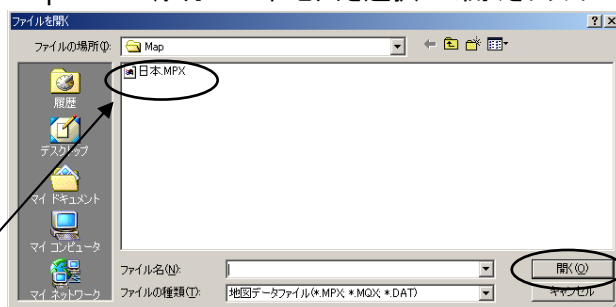
MapPaint を起動すると、作業する地図環境を選択する画面が表示されます。新規に地図環境を作成する場合は、「新規作成」を選択します。すでに作成された地図環境を使用する場合は、「地図選択」を選んで下さい。

ここでは、新規に地図環境を作成する手順を説明します。

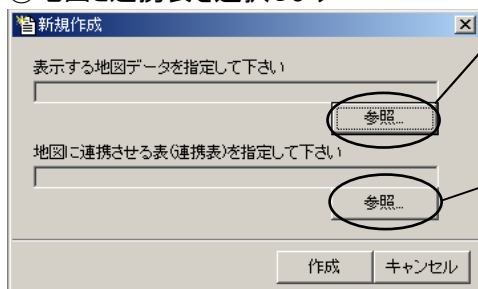
①新規作成を選択します



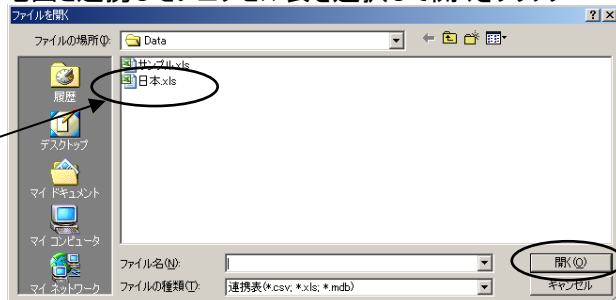
MapPaint に添付の日本地図を選択して開くをクリック



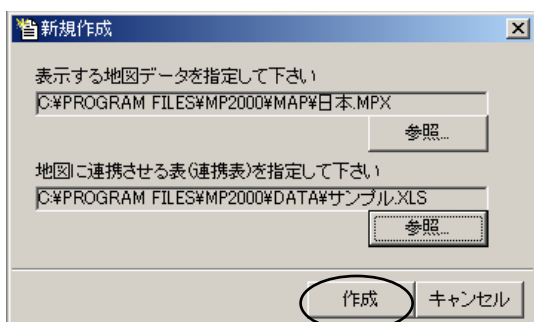
②地図と連携表を選択します



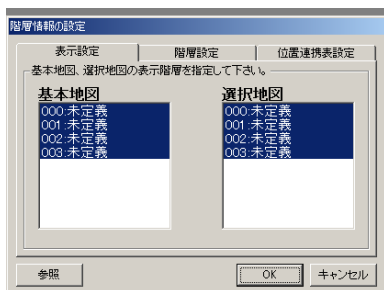
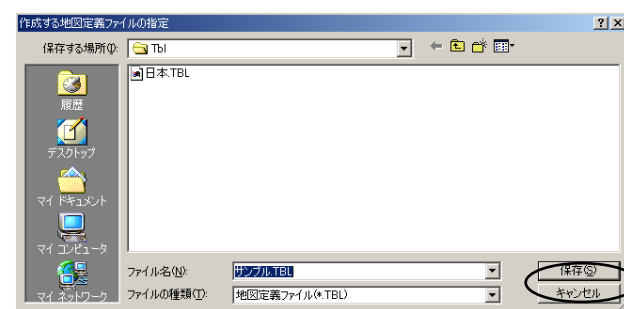
地図と連携したいエクセル表を選択して開くをクリック



③地図と連携表を選択したら作成ボタンをクリック

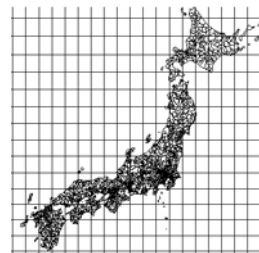


④作成した地図と連携表の組合せに名前をつけて保存



<補足>

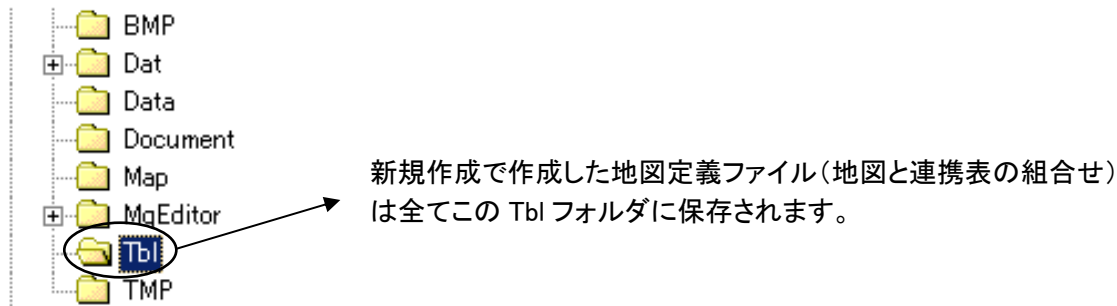
未定義の状態のままOKボタンを押すと、右図のようなモノクロの日本地図が表示されます。これは階層設定の色設定が行われる前の状態になっているからです。この状態からも階層情報の設定は行えます。(P.6 3部 2.階層情報の設定参照)



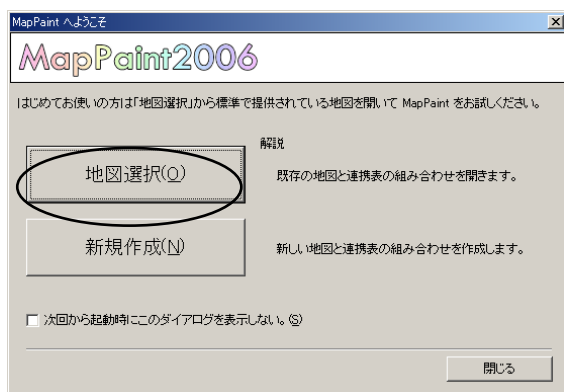
⑤階層情報の設定画面が表示されます。階層情報の設定方法は6ページ「第3部 階層情報の設定手順」の、「2.階層情報の設定」をご覧ください。

2. 作成した地図定義ファイルの保存場所

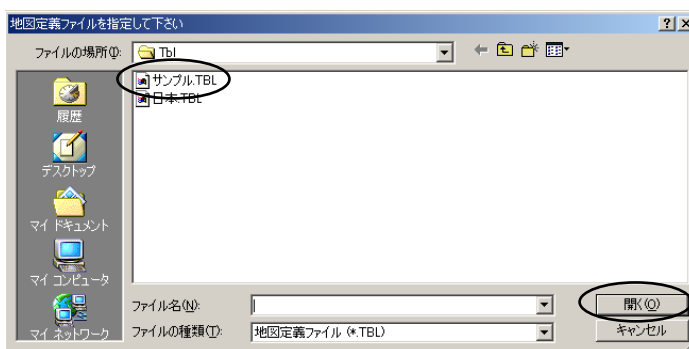
1の要領で、様々な用途に合わせた地図定義ファイルを作成することができます。この地図定義ファイルは、拡張子が〇〇.TBL というファイル名で MapPaint2006 の「Tbl」フォルダに全て保存されます。次回からは、メニュー「地図選択」から作業したい地図定義ファイルを選択して作業を始めることができます。



① MapPaint を起動して、「地図選択」を選択します。

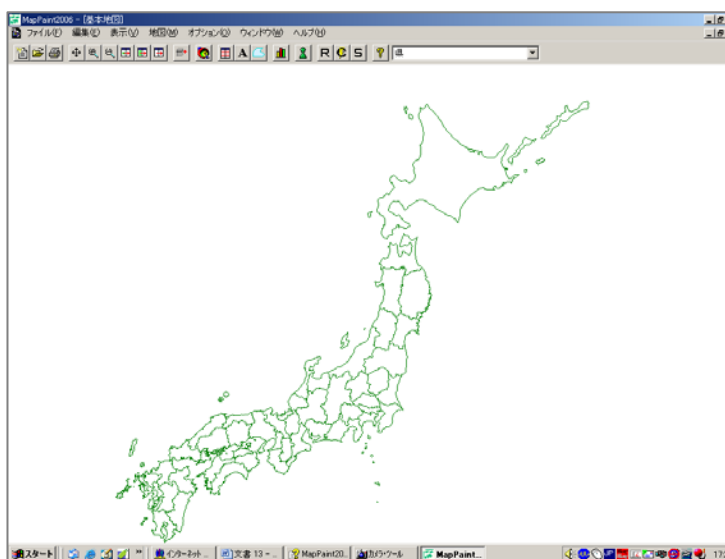


② 作成した地図定義ファイルが表示されます。



作業したいファイルを選んで「開くボタン」をクリックします。

③ ②で選んだ地図が表示されます。




地図環境の作成手順は以上で終了です。

第4部 階層情報の設定手順

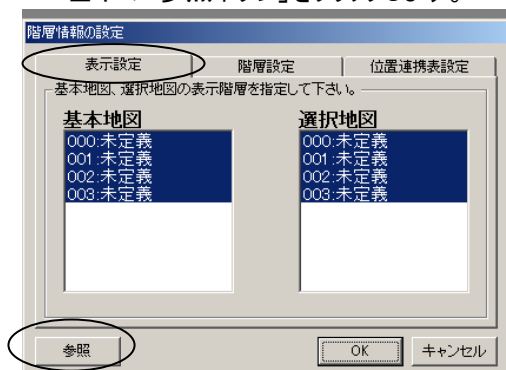
1.階層について

階層とは地図のグループ分けの単位です。地図は「階層」の組み合わせでできています。地図は都道府県や市区町村といった種類によって「階層」というグループで管理します。MapPaint では、地図の表示スタイルを階層別に設定します。これらを「階層情報の設定」ボタンで行っていきます。地図と連携表の関連付けを設定したり、表示する地図の階層を変更することができます。※階層情報の設定の詳細に関しましては電子ヘルプ:キーワード:「階層情報の設定」「階層設定」をご覧ください。

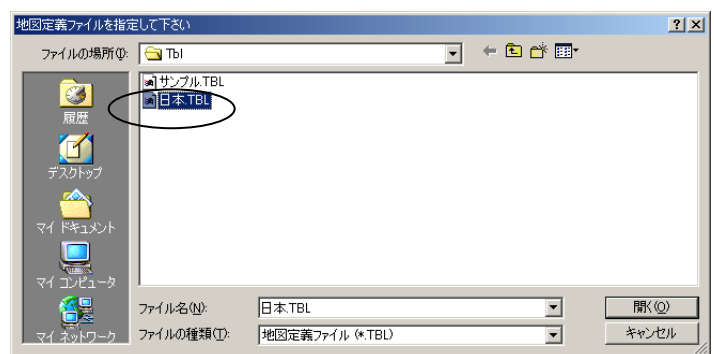
2. 階層情報の設定

2-1.表示設定 :表示設定では、MapPaint で表示する地図を選択します。MapPaint では、「基本地図」、「選択地図」の二種類の地図ウィンドウを表示します。「基本地図」とは、MapPaint を起動して最初に表示される地図のことです。「選択地図」とは、選択した地区の地図だけが表示される地図のことです。ここでは、その地図ウィンドウで表示する地図の階層を設定します。ツールバーの階層情報設定ボタン  から始めます。

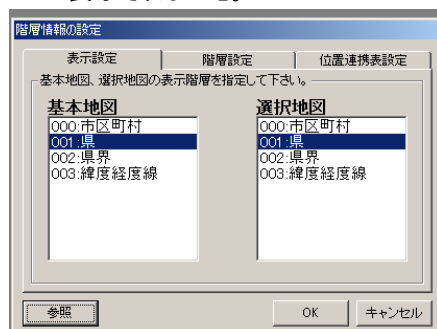
- ① 新規作成で作成した地図定義ファイルの階層情報は全て「未定義」となっています。左下の「参照ボタン」をクリックします。



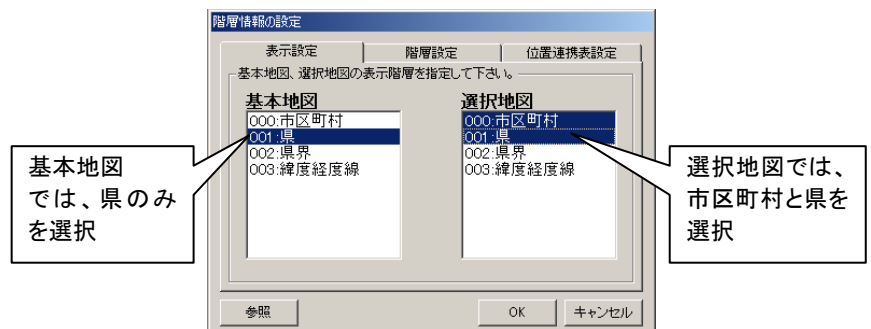
- ② MapPaint に添付している日本.TBL ファイルを参照します。(※「日本.TBL」をベースに地図定義ファイルを作成されている場合)



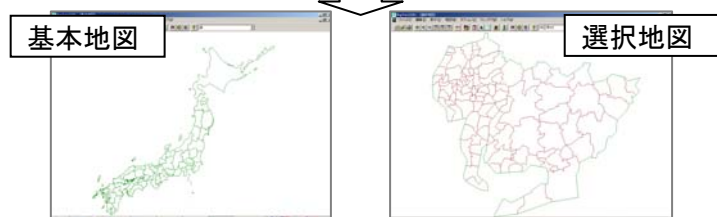
- ③ ②で選択した日本.TBL ファイルの階層が表示されました。



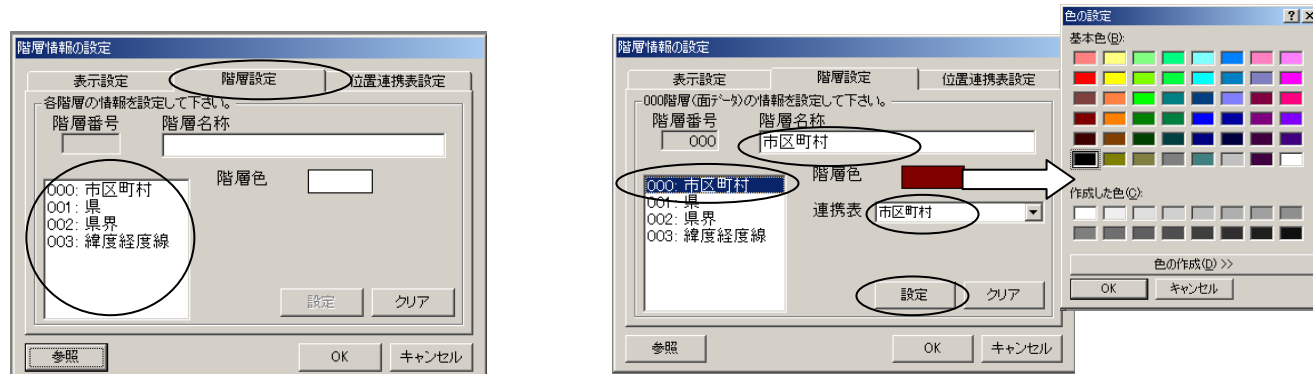
- ④ 基本地図と選択地図を決定します。



※右図の場合は最初に表示する地図は県のみ表示となり、一つの地区を選択した場合には県と市区町村が表示されます。



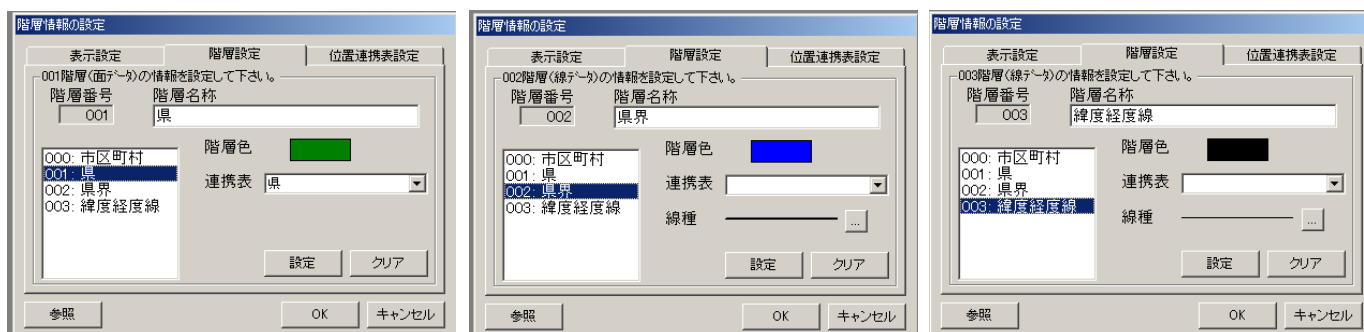
2-2.階層設定：階層設定では、各階層の階層色と各階層に連携させる連携表の決定、または変更を行います。



① 階層を設定する地図が管理する階層が左側にリスト表示されます。

② 設定する階層を選択すると階層名称が表示されます。

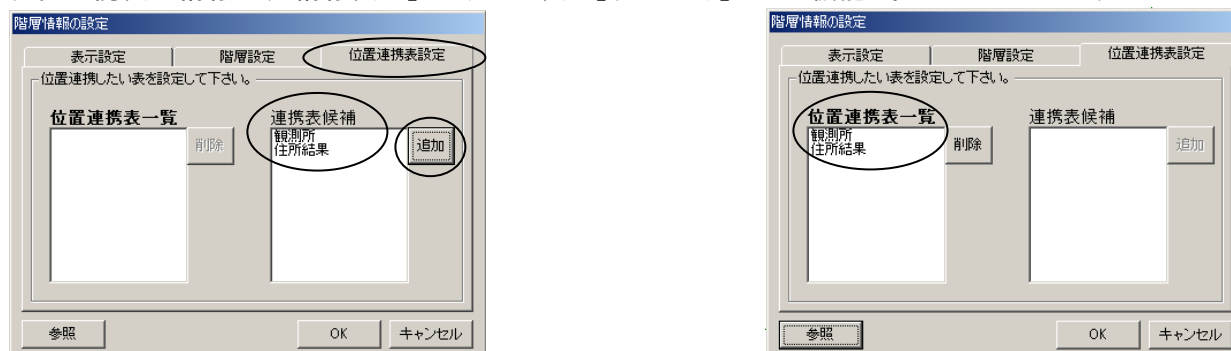
階層色を変更する場合は色の部分をクリックすると色の設定を変更できます。選択した階層に連携する表がある場合連携表の部分に連携するシート名が表示されます。各設定が決定したら「設定ボタン」をクリックして下さい。



※ ②と同様に各階層もそれぞれ設定して下さい。ここで連携表を設定しないと、地図と表が連携できていない状態になります。

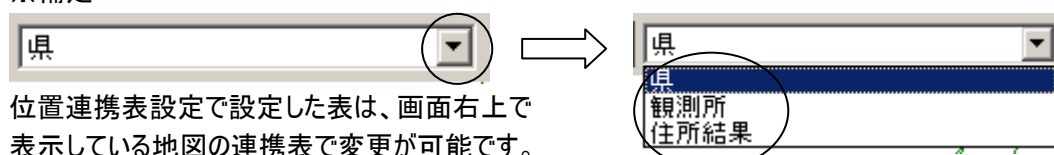
2-3.位置連携表設定：位置情報を持つ表データを位置連携表として設定します。

位置連携表の情報は、「情報表示」や「ラベル表示」、「色塗り」などの機能で見ることができます



① 位置情報を持つ表データがあると、右の「連携表候補」にそのシート名が表示されます。選択して「追加」ボタンを押して下さい。

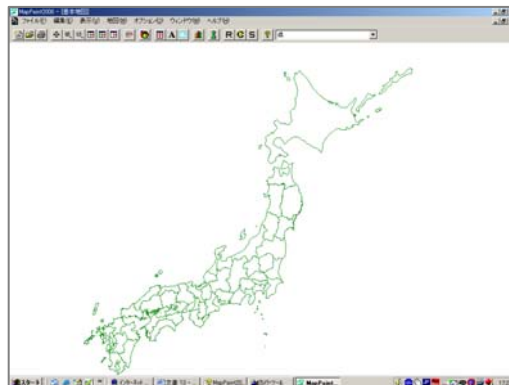
※補足



位置連携表設定で設定した表は、画面右上で表示している地図の連携表で変更が可能です。

表示している地図に連携している全ての連携表から選択します。

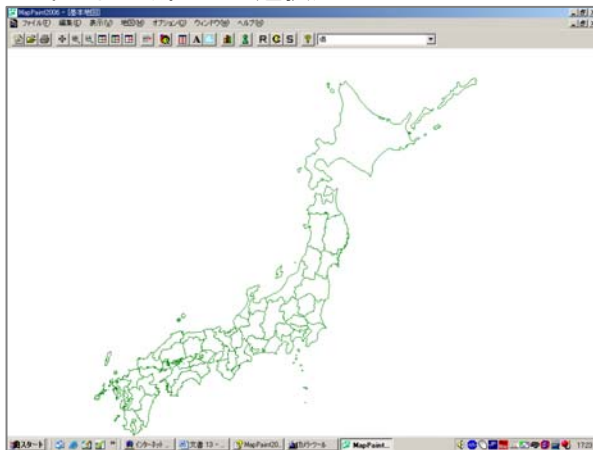
※表示、階層、位置連携の各設定が全て完了したら、「OK」ボタンを押して下さい。全ての階層情報の設定ができましたので、右図のような地図が表示されます。



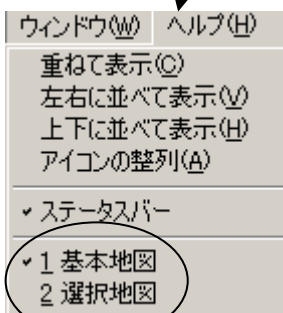
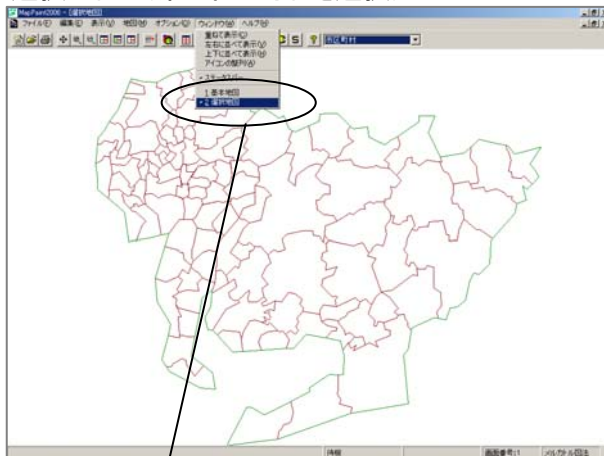
※補足

「基本地図」と「選択地図」の表示を選ぶには、メニューバーのウィンドウよりそれぞれ選択して頂けます。
(下図はそれぞれ、表示設定で「基本地図」は県を選択、「選択地図」は県と市区町村を選択しています。)

基本地図（県のみを選択）



選択地図（県と市区町村を選択）



第5部 色塗り手順

1. 色塗り設定

初めに色塗りを行う階層を決めます。ここでは色塗りを行う階層を「県」として説明します。

- ① 画面右上の連携表が県になっていることを確認します。



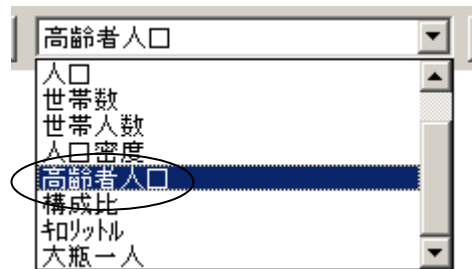
- ② ツールバーの「色塗りボタン」をクリックします。



- ③ 色塗り用ツールバーが画面左上部に表示されます。下矢印をクリックすると、色塗りを行う項目が全て表示されます。



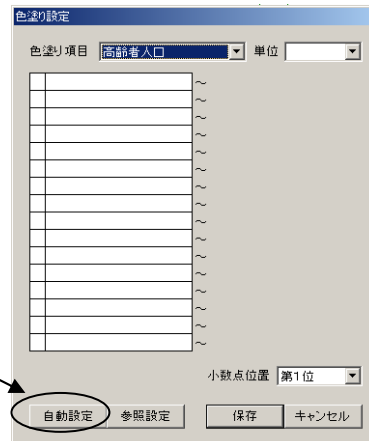
- ④ 色塗りを行いたい項目を選択して下さい。
※ここでは、高齢者人口で色塗りを行います。



- ⑤ 項目を選択したら「色塗り設定」ボタンをクリックします。右図の色塗り設定画面が表示されます。

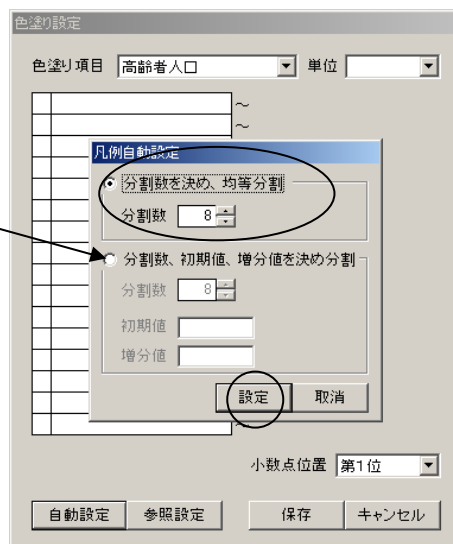


- ⑤-1. 「自動設定」ボタンをクリックします。



- ⑤-2. 色塗りの分割数を設定する画面が表示されます。ここでは、「分割数を決め、均等分割」を選択して、任意の分割数を決めて「設定ボタン」をクリックして下さい。

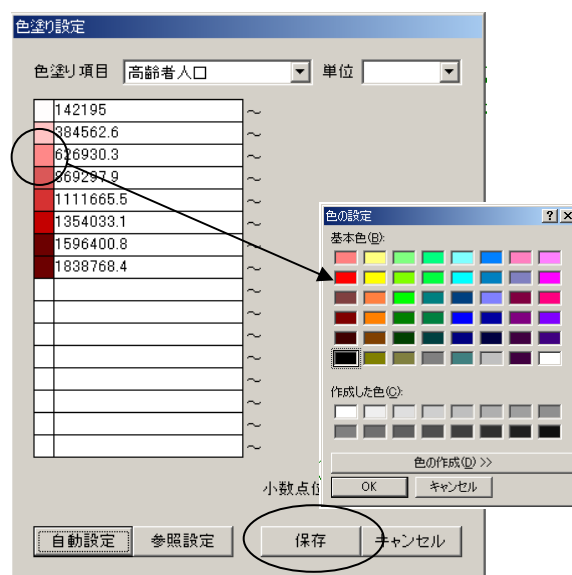
※ もっと細かい設定を行いたい場合は、下の「分割数、初期値、増分値を決め分割」を選択して下さい。



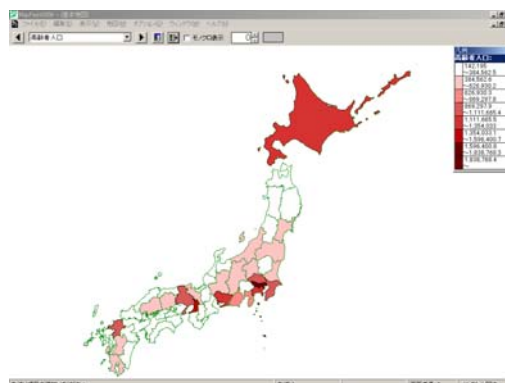
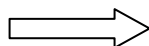
⑤-3.色は左の色の部分をクリックすると「色の設定」画面が表示されますので、好きな色を選んで下さい。

色を全て選んだら、「色塗り設定画面」の「保存ボタン」をクリックして下さい。

※色の設定の詳細に関しては、電子ヘルプ:キーワード「色設定」を参照して下さい。



⑤-4.右の「実行ボタン」をクリックして下さい。設定した条件で地図が色塗りされます。



※その他色塗り機能の詳細に関しましては、電子ヘルプ:キーワード:「色設定」～「色塗り設定」をご覧ください。

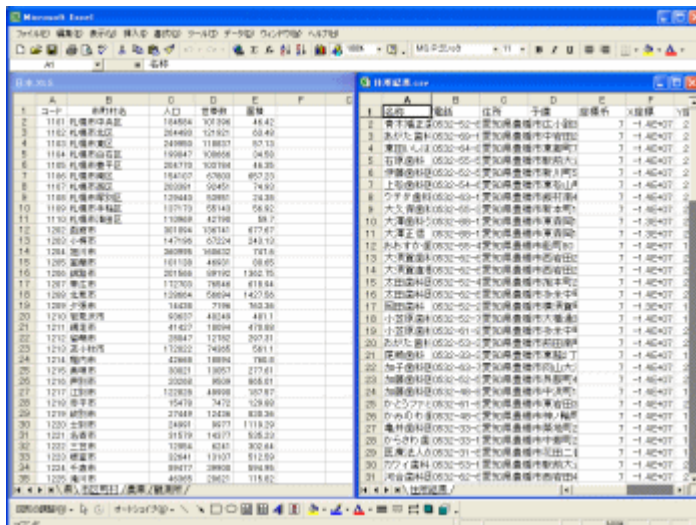
第6部 ジオコーディングした結果を MapPaint に取り込む手順

ホームページ上にある「ジオコーダ無料体験」より、お手持ちの住所データに位置情報をつけることができます。ここでは、このジオコーディングした結果を MapPaint に取り込み、活用する手順を説明します。

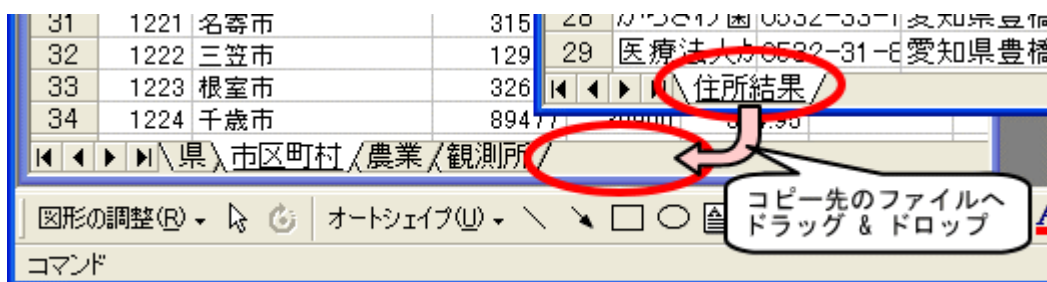
- ① ジオコーダで出力されたカンマ区切りの位置情報データをコピーして、Microsoft メモ帳(テキストファイル)に貼り付け、名前をつけて保存します。

```
住所,座標系,座標X,座標Y,緯度[世界],経度[世界],緯度,経度
愛知県豊橋市広小路2丁目28,7,-13710550,2014700,34.763909,137.386755,34.760627743
愛知県豊橋市東田町156-1,7,-13697910,2315200,34.764985,137.419536,34.7617030562
愛知県豊橋市南栄町字空池3-88,7,-14044570,2004280,34.7338,137.385538,34.73051538
愛知県豊橋市前田町2丁目12-23,7,-13744110,2121090,34.760852,137.398369,34.757580
愛知県豊橋市緑ヶ丘1丁目18-24,7,-13550120,2441190,34.778279,137.433392,34.774998
愛知県豊橋市向山大池町3-6,7,-13774500,2184540,34.758109,137.405292,34.754826634
愛知県豊橋市南栄町字空池67-3,7,-14051750,1991380,34.733155,137.384127,34.729870
愛知県豊橋市春日町1丁目123-1,7,-13793260,2253380,34.756403,137.412306,34.753120
愛知県豊橋市中岩田5丁目2-13,7,-13829770,2384530,34.753082,137.427122,34.7497985
愛知県豊橋市中原町字岩下36-9,7,-14154660,2797090,34.723688,137.472076,34.720400
```

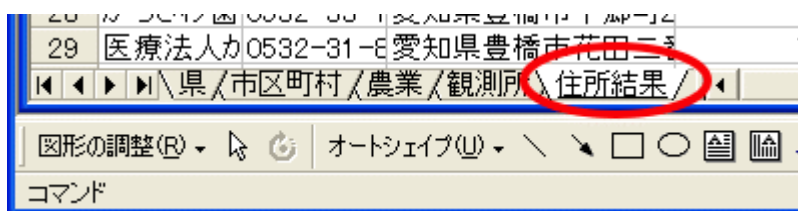
- ② Microsoft Excel を開いて、①で作成したテキストファイルをインポートします。インポートしたら名前を付けて保存して下さい。(ここではファイル名は“住所結果.xls”とします)
- ③ ②で作成した住所結果.xls を MapPaint で使用できるように、位置連携表へインポートします。
- ④ 住所結果.xls を追加したい MapPaint の連携表ファイルを Microsoft Excel で開きます。(ここでは“日本.xls”とします)
MapPaint の連携表ファイルは ここでは“C:\Program Files\MP2000\Data”にあります。
- ⑤ 2つのファイルの内容が表示されていることを確認してください。
画面上に1つのファイルの内容しか表示されていない場合は、[ウィンドウ] - [整列] - [並べて表示] を実行してください。



- ⑥ 2つのファイルを開いた状態で、住所結果.xls のシートを連携表ファイルのシートの右側へドラッグ & ドロップしてください。

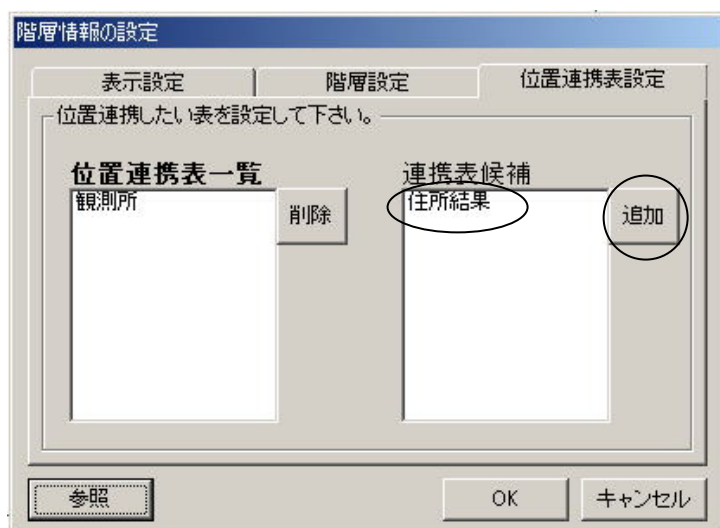


- ⑦ 「住所結果.xls」シートが連携表ファイルへコピーされたことを確認してください。

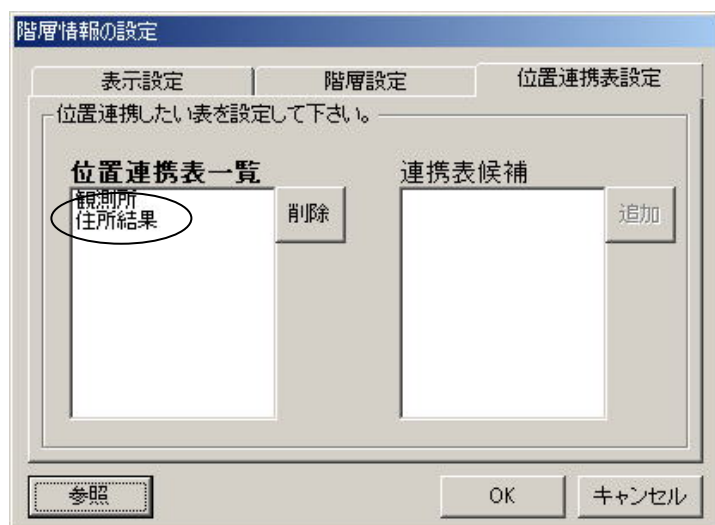


これでジオコードした結果を位置連携表としてインポートすることができました。連携表ファイルを保存して、Microsoft Excel を終了してください。

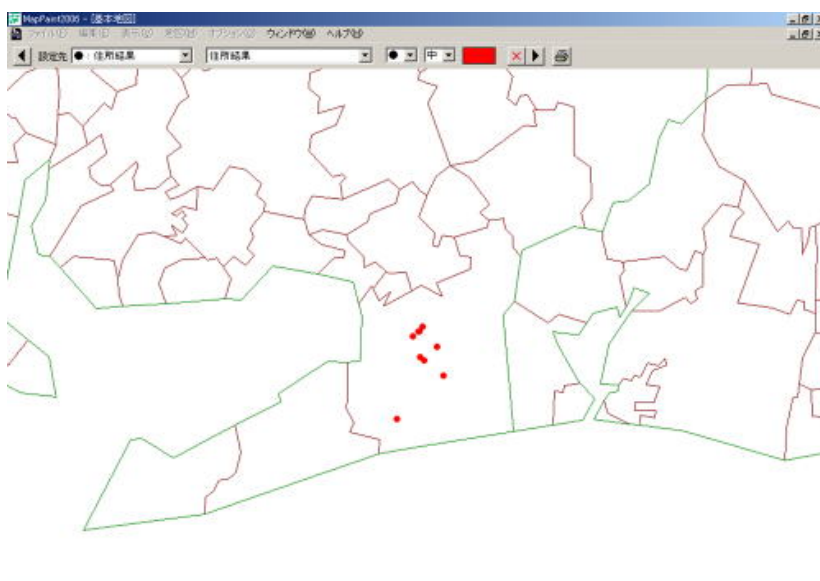
- ⑧ ⑦でインポートしたシートを MapPaint で位置連携表として設定します。
MapPaint を起動して、住所結果をインポートした連携表と地図の組み合わせ (ここでは「日本.TBL」とします)を開いて下さい。
- ⑨ 階層情報の設定ボタンから、「住所結果」を位置連携表として追加します。
階層情報の設定から位置連携表設定を選択すると、連携表候補にインポートした住所結果が表示されます。「住所結果」を選択して、右の追加ボタンを押してください。



左の位置連携表一覧へ住所結果が追加されました。



- ⑩ ジオコーディングした結果を位置連携表に追加し、MapPaint2006 のシンボル表示機能を使うと、下の図のように位置の情報が点で表示できます。
(※シンボル表示の操作方法などの詳細は MapPaint 電子ヘルプをご参照下さい。)



<補足>

- MapPaint2006 は作業途中及び作業終了の状態ではファイルの保存はできません。
※次回起動時には、地図定義ファイルは初期状態で起動します。尚、階層設定や色塗り設定などの情報は保存されています。
- 市町村合併等によるソフトの更新については未定です。尚、手動で MapPaint に付いています「地図編集ツール」より地図の編集は行えます。※詳細に関しては付属の「地図編集ツール操作説明書」をご覧ください。

以上で簡単操作ガイドは終了です。この操作ガイドでは始めの操作手順のみを細かく説明させて頂いておりますので、MapPaint2006 には、ここでご紹介した以外に、まだまだたくさんの機能がございます。この他の機能、操作に関しましては製品の電子ヘルプをご参照下さい。